



広報

かなぎ

1999

4

No.396

先輩たちの拍手に迎えられ 夢いっぱいの新1年生



4月7日
金木小学校「入学式」

観光客のニーズにこたえ

お年寄りにやさしい町づくり

平成11年度 一 般 会 計 予 算

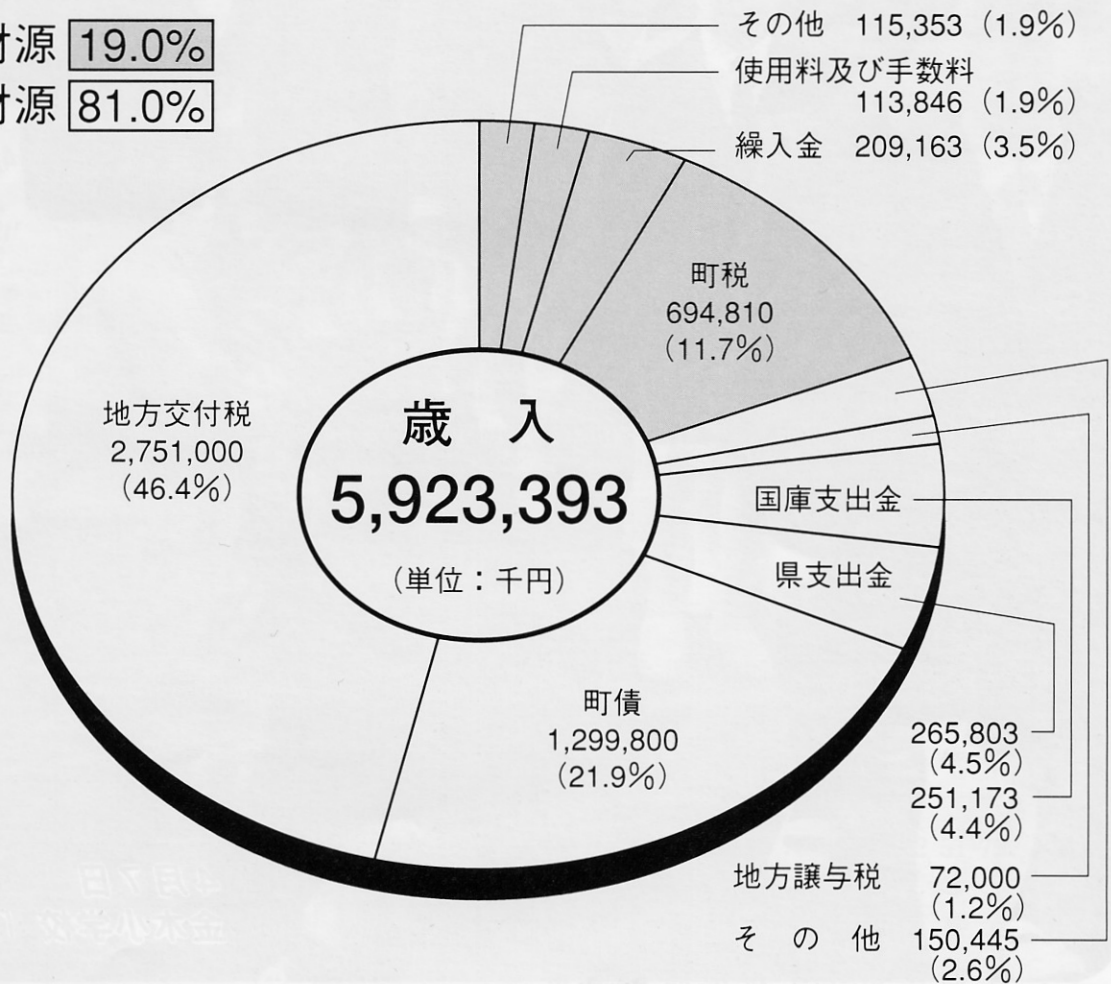
59 億 2,339 万円

平成11年度一般会計、特別会計の各当初予算が第167回金木町議会定例会（3月議会）で議決されました。

一般会計の当初予算額は、歳入歳出それぞれ59億2,339万円（対前年比9.3%増）で、前年度より約5億600万円の増額となりました。









主な要因としては、歳入では国の経済対策や社会資本整備への積極的な対応で地方交付税が増額。また、歳出の方では三味線会館とイベント広場整備事業本工事着手、高齢者生活福祉センター事業などの事業費の増によるものです。

自主財源 **19.0%**
依存財源 **81.0%**



今年度の主な歳出

【単位：千円】、()は前年度当初予算

★民生費 	1,013,833 (957,252) ●高齢者生活福祉センター整備事業 292,697 ●デイサービス事業委託料 22,466 ●介護サービス体制整備事業 6,408 ●地域福祉ほのほの交流 5,901
★商工費 	807,853 (340,636) ●イベント広場整備事業 449,842 ●観光物産館建設事業 219,496 ●森林鉄道貨車複製事業 4,350
★衛生費 	784,081 (790,136) ●公立金木病院組合負担金 315,841 ●国保特別会計繰出金 95,346 ●水道事業特別会計高料金対策繰出金 66,693 ●西北五環境整備事務組合負担金 65,980
★総務費 	684,163 (654,775) ●地方バス路線維持費 7,670 ●介護保険関係電算整備 5,971 ●CM放送委託料 1,000
★土木費 	498,397 (478,731) ●新ふるさとづくり町道整備事業 201,780 ●地方特定道路整備事業 111,784 ●除雪対策費 94,309
★教育費 	481,509 (458,305) ●嘉瀬小学校大規模改造事業 54,076 ●金木小学校大規模改造事業 16,603 ●外国青年招致事業 6,295
★農林水産業費 	453,106 (555,936) ●ふるさと林道緊急整備事業 69,155 ●緊急生産調整推進対策事業 27,515 ●水田麦・大豆等生産振興緊急対策事業 25,945
★消防費 	318,269 (309,348) ●津軽北部広域事務組合負担金 299,821 ●消防防災用車両購入 2,154
★その他	882,182 (872,154)

過去10年間の当初予算額

年度	当初予算額
2	37億1,317万円
3	38億 247万円
4	40億3,478万円
5	40億4,096万円
6	49億1,514万円
7	49億 825万円
8	54億6,242万円
9	52億 860万円
10	54億1,727万円
11	59億2,339万円

特別会計

(単位：千円)

国民健康保険特別会計	1,255,595
老人保健特別会計	1,086,763
農業集落排水事業特別会計	116,784
水道事業会計	303,443

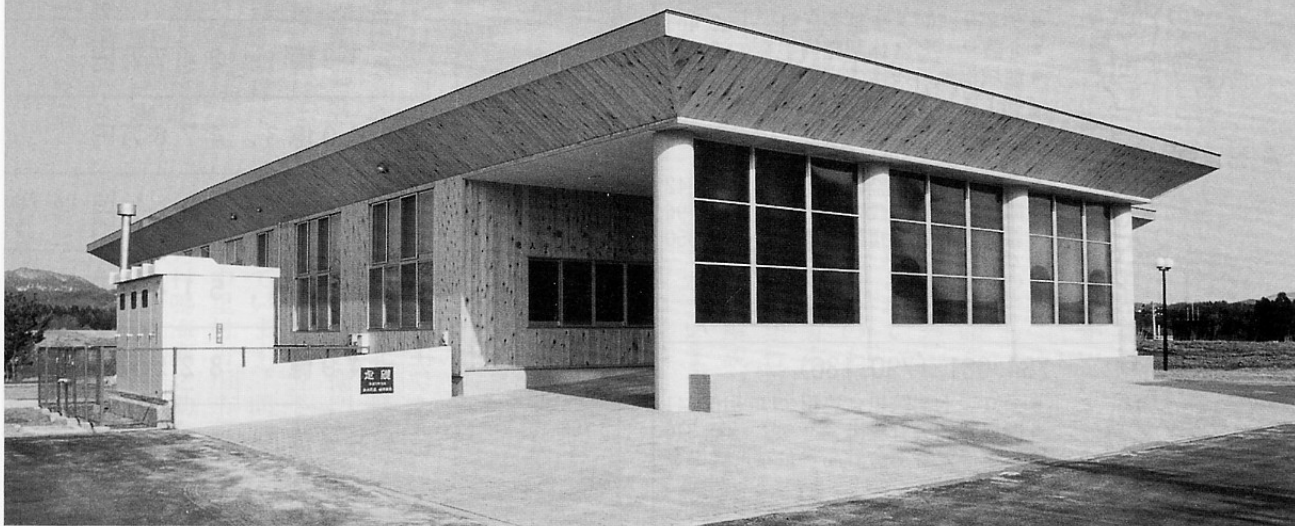
町民一人当たり納める税額

(単位：円)

町民税	21,878
固定資産税	27,455
軽自動車税	1,427
町たばこ税	6,036
計	56,796

※1人当たりの金額は、2月末現在の町の人口12,233人で計算したものです。

デイサービスセンター完成



金木町老人デイサービスセンターが三月下旬に完成し、四月一日から業務を開始しました。二十一世紀を目前に控え、年々お年寄りが増加する中で、介護を必要とする方や障害者の方が安心して入浴、食事、機能訓練など総合的な福祉サービスを受けられる施設です。

デイサービスセンターは、川倉地区にある中央老人福祉センター隣の約九千五百平方メートルの敷地に建設され、総床面積は約六百二十平方メートル。鉄骨コンクリート造平屋建て、事業費は約二億二千七百万円。老人デイサービス事業、在宅介護支援事業、家庭奉仕員派遣事業の機能を一体化させた施設です。外観にはヒバ材を多用し、利用される方にとって、ぬくもりと優しさが伝わる造りとなっています。

金木町の高齢化率（六十五歳以上の人口／総人口）は五年ごとの国勢調査の結果、昭和五十五年に初めて一〇％台（一一・三％）に達し、以後の調査でも増加の一途をたどり、平成七年には二一・〇％、今年二月末現在では総人口一万二千二百三十三人に対し、六十五歳以上は二千八百十人、高齢化率は二二・九％。平成

十七年には推定人口が一万一千人、うち六十五歳以上のお年寄りが二千九百人と推定され、高齢化率は二六・四％で着実に上昇するものと思われます。全町民の五人に一人の割合から四人に一人、やがては三人に一人の割合へとなっていくことが予想されます。

必然的に寝たきり老人や痴ほう性老人など要介護老人が増えることで介護を行う場合、仕事を持つ家族の人たちに支障を来すことにもなりかねません。これらのことも踏まえ、安心な老後を送られるよう、一定の障害者の方が気軽に利用できる施設がデイサービスセンターです。また、来年四月から始まる介護保険制度に向けて、この施設が中心的役割を果たすことにもなります。

一方で、今現在は要介護老人が全体の約一・四％と数字的には、はるかに多くの元気なお年寄りがあるのも事実で

す。しかし介護問題は「する側」「される側」双方だけに限られたことではなく、切実に訪れる自分自身の問題でもありますので、今一度、考え直してみたいものです。

また、このデイサービスセンターに居住部門を併設させた高齢者生活福祉センターが年度内に建設されます。介護を必要としないながらも、冬期間などの一定期間、独立して生活することに不安を抱える独り暮らしのお年寄りの皆さんが、自炊しながら安心して利用できる施設です。

◎通所、その他に関する
問い合わせ先

●健康福祉課
（保健センター内）

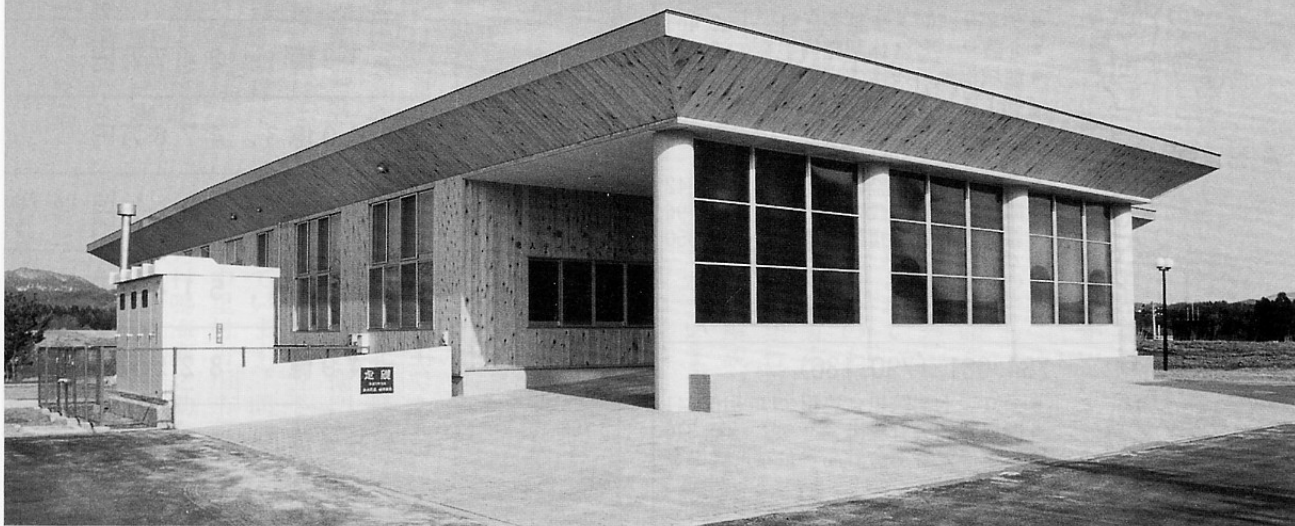
☎五三二二一一

または、

●金木町老人
デイサービスセンター

☎五四一〇五一

デイサービスセンター完成



金木町老人デイサービスセンターが三月下旬に完成し、四月一日から業務を開始しました。二十一世紀を目前に控え、年々お年寄りが増加する中で、介護を必要とする方や障害者の方が安心して入浴、食事、機能訓練など総合的な福祉サービスを受けられる施設です。

デイサービスセンターは、川倉地区にある中央老人福祉センター隣の約九千五百平方メートルの敷地に建設され、総床面積は約六百二十平方メートル。鉄骨コンクリート造平屋建て、事業費は約二億二千七百万円。老人デイサービス事業、在宅介護支援事業、家庭奉仕員派遣事業の機能を一体化させた施設です。外観にはヒバ材を多用し、利用される方にとって、ぬくもりと優しさが伝わる造りとなっています。

金木町の高齢化率（六十五歳以上の人口／総人口）は五年ごとの国勢調査の結果、昭和五十五年に初めて一〇％台（一一・二％）に達し、以後の調査でも増加の一途をたどり、平成七年には二一・〇％、今年二月末現在では総人口一万二千二百三十三人に対し、六十五歳以上は二千八百十人、高齢化率は二二・九％。平成

十七年には推定人口が一万一千人、うち六十五歳以上のお年寄りが二千九百人と推定され、高齢化率は二六・四％で着実に上昇するものと思われます。全町民の五人に一人の割合から四人に一人、やがては三人に一人の割合へとなっていくことが予想されます。

必然的に寝たきり老人や痴ほう性老人など要介護老人が増えることで介護を行う場合、仕事を持つ家族の人たちに支障を来すことにもなりかねません。これらのことも踏まえ、安心な老後を送られるよう、一定の障害者の方が気軽に利用できる施設がデイサービスセンターです。また、来年四月から始まる介護保険制度に向けて、この施設が中心的役割を果たすことにもなります。

一方で、今現在は要介護老人が全体の約一・四％と数字的には、はるかに多くの元気なお年寄りがあるのも事実で

す。しかし介護問題は「する側」される側」双方だけに限られたことではなく、切実に訪れる自分自身の問題でもありますので、今一度、考え直してみたいものです。

また、このデイサービスセンターに居住部門を併設させた高齢者生活福祉センターが年度内に建設されます。介護を必要としないながらも、冬期間などの一定期間、独立して生活することに不安を抱える独り暮らしのお年寄りの皆さんが、自炊しながら安心して利用できる施設です。

◎通所、その他に関する

問い合わせ先

●健康福祉課
(保健センター内)

☎五三二二一一

または、

●金木町老人
デイサービスセンター

☎五四一〇五一

平成10年度 金木町褒賞

34人・1団体受賞



平成10年度金木町褒賞授与式が三月二十九日、役場大会議室で行われ、各分野で活躍し町発展に貢献した一団体と三十四人が表彰されました。授与式では鳴海町長が「献身的に町発展のため、頑張っている皆さんに感謝します。今後も豊富な識見と経験を生かし、各方面で活躍ください」と式辞。その後、功労者一人ひとりに褒賞状と記念品が手渡され、最後に受賞者を代表して秋谷正義さん（林町）が「荣誉ある褒賞を受賞し、身に余る光栄です。今後も町発展のため尽力する覚悟です」

と謝辞を述べました。
受賞者は次の通りです。

(敬称略)

- ◎自治功労褒賞
 - 一 褒賞規則第三条第三号
秋谷正義（農業委員の功労）
 - 二 褒賞規則第三条第六号
角田正男
鎌田善光（行政協力委員の功労）
花田柁五郎（同）
 - ◎特別功労褒賞
 - 三 褒賞規則第四条第一号
白川與助（体育振興の功労）
棟方正一（職業訓練指導の功労）

- 四 褒賞規則第四条第三号
小野正文（交通安全の功労）
其田和仁（同）
西村昭八（防犯の功労）
蒔田むらぶくり推進協議会（農業の功労）
- 原田 僚（同）
中谷 肇（転作組合の功労）
長内政榮（同）
木下伊佐太郎（同）
桑田直治（同）
秋元秀樹（同）
米谷甚九郎（林業の功労）
伊藤清慈（同）
- 五 褒賞規則第四条第四号
松尾志郎（献血協力者）
柏谷昌利（同）
松山昌史（同）
須崎由美（保護司の功労）
- 六 褒賞規則第四条第五号
三上光弘（納税組合の功労）
田中光治（同）
石戸谷富雄（同）
澤田嘉昭（同）
泉谷金一郎（同）
成田好隆（同）
山中 将（同）
秋元幸之進（同）
松川平次郎（同）
今 正志（同）
中村園家（同）
宮崎やゑ（同）
木立久雄（同）



▶「大変ありがたい」と
振興券を受け取る小松さん



▶鳴海町長から斜陽館のラ
イトアップ写真をプレゼ
ントされた小田桐さん

地域振興券交付 有効期間 9月26日まで

地域の活性化を狙いに支給された地域振興券の交付が3月27日、町内3カ所で行われました。このうち嘉瀬公民館では鳴海町長が、一番最初に交付された小松テルさん（68歳・上新町）に直接、振興券を手渡しました。夫の分と合わせ4万円分を受け取った小松さんは「大変助かります。振興券は、米や魚など食料費につかわせてもらいます」と早速、商店に向かいました。

太宰治記念館「斜陽館」10万人突破

太宰治記念館「斜陽館」として、昨年4月17日にオープンした同館の有料入館者が3月22日、10万人を突破し、館内で記念セレモニーが行われました。10万人目の入館者となったのは五所川原市の小田桐有貴雅さん。函館市から来た奥さんの両親と一緒に4人で訪れ、最後尾で入館したところ幸運にも記念入館者となりました。

平成11年度 金木町職員配置図

町長 鳴海 義男 助役 角田 昭次 教育長 成田 勝義

◆ 1階

税務課	健康福祉課	保健センター	町民課	会計課	水道課
課長 木村 勇健 総括補佐 秋元 亮悦 補佐 原田 政彦 係長 田中 逸雄 〃 吉田 秋蔵 〃 今 重彦 主任主査 成田真理子 〃 今 ひとみ 〃 小野 光子 主事 西村 長幸 〃 前田 孝樹 〃 三橋 諭	課長 福井 定治 総括補佐 黒滝 京子 係長 秋元 建一 〃 白川 博範 主事 浅利 寿夫 〃 加賀谷 尚 〃 中谷 桂子 〃 浜田 優子 技員 桜庭 一	総括補佐 泉谷 道久 補佐 中村 武治 〃 今 勝照 係長 福士 豊 主事 今 秋吾 〃 白川 彰吾 主任保婦 秋元 淳子 〃 小山内睦子 〃 越 和賀奈 〃 鶴賀 寿代 保婦 山口 美香 中央福祉センター 所長 (福井定治)	課長 白川 貢 指導監 前多 栄子 総括補佐 吉田 フツ 〃 成田 良逸 主幹 白川 敬 〃 大橋 久美 〃 桑田 康子 〃 山中 喜弘 係長 原田 春彦 主任主査 古川 絹子 〃 門間 裕子 〃 白川恵里子 主事 山中和香子	課長 小野賢一郎 補佐 鳴海 八嘉 主任主査 伊藤 貞子 〃 石戸谷せつ子	課長 杉山 義光 総括補佐 福長 久男 補佐 今 義律 主事 鳴海美奈子 技員 今 智祐

◆ 2階

総務課	選挙管理委員会 (事務局)	農林課	農業委員会 (事務局)	建設課
課長 木村 博 指導監 今 寿生 総括補佐 田中 雅彦 係長 葛西 一省 〃 中谷 吉範 〃 藤元 泰志 〃 秋元 勲 主任主査 宮崎 君子 〃 伊藤恵美子 主査 黒川 隆二 主事 川口 均 〃 津島 洋志 〃 田中 儀昌 主任技員 工藤 金蔵 技員 藤元 良一 〃 古川 秀武 〃 奈良 正子 労員 千葉 行雄	局長 (今 寿生) 主査 田中留美子 つがる西北五広域連合 主査 白川 昌利	課長 伊藤 誠 補佐 畑中 力郎 〃 吉崎 弘光 〃 目黒 剛志 主幹 泉谷 悦子 係長 小山内洋一 〃 阿部 陽一 〃 原田 博 〃 中谷 委弘 主査 中谷 文一 主事 川口 渉 〃 秋村 正紀	局長 (伊藤 誠) 次長 田中 啓子 〃 大橋 良昌 主事 齊藤 和広	課長 宮崎 堅治 総括補佐 齊藤 務 係長 桑田 克己 〃 田中 悟 〃 中谷 金義 主任主査 福井 裕子 主任技師 寺山 和孝 主事 西村 司 〃 木下 常幸 〃 長尾 実 〃 古川 清彦

主任保婦 = 主任保健婦
保婦 = 保健婦
技員 = 技能員
労員 = 労務員
用員 = 用務員
調師 = 調理師
調員 = 調理員
総括主保 = 総括主任保士

◆ 3階・4階・出先

教育委員会 (事務局)	太宰治記念館	企画観光課	議会 (事務局)	一般廃棄物処分場
教育次長 伊藤 国博 総括補佐 沢田 守 補佐 伊丸岡すみ 〃 山中 均 主幹 奈良 健司 主査 竹内 拓人 主事 小山内順也 〃 古川 純一	館長 神島 俊治 海洋センター 所長 (伊藤国博) 技員 岡田 健児 民俗資料館 館長 (伊藤国博)	課長 石戸谷鏡治 総括補佐 山口 信保 補佐 秋谷 修二 主幹 沢田 久子 係長 夏坂 泰寛 〃 角田 正樹 主事 津島 幸秀 〃 松川 智子	局長 中野 博之 主任主査 山口 幸子	係長 今 泰三 〃 伊藤 光俊

中央公民館	嘉瀬公民館	第1保育所	第2保育所	第3保育所	第4保育所
館長 田中 馨 補佐 角田 諭留 主幹 津島 友子 技員 柏谷 昌利	館長 (田中 馨) 農業者トレセン 館長 (田中 馨)	所長 前田 晃 指導監 中谷 弘子 主任保士 山田 恵子 〃 高橋 律子 〃 大谷 恵子 保士 菊池希久子 〃 成田ゆかり 用員 原田 裕美	所長 山崎 紘二 総括主保 杉山倭文子 主任保士 舩甚イエ子 保士 成田 久子 〃 沢田 智代 〃 藤本まつ子 用員 松尾 久子 調師 阿部 きせ	所長 (木田昭二) 総括主保 外崎 啓子 主任保士 田中 照子 保士 白川恵久子 〃 山中 弘恵 調師 白川るり子 用員 今 郁子	所長 木田 昭二 総括主保 山中 光子 主任保士 山田伊津子 〃 秋田 千幸 用員 伊丸岡紀子

金木小学校	川倉小学校	嘉瀬小学校	喜良市小学校	金木中学校	金木南中学校
用員 白川 勝信 調員 原田 愛子 〃 工藤千加子 〃 小松ゆり子 技員 横山 定栄	調員 山中ふみ子	用員 大橋 信政 調員 白川陸奥子	用員 木村 清忠 調員 高橋 セコ 〃 川山ケイ子	用員 松川 幸憲 調員 白川留美子 〃 奈良ノリ子 〃 神成 友子	用員 鳴海 幸憲 調員 小松ヨシ子 〃 大橋 啓子

太宰をしのぶ⑫

太宰治と生家 (3)

金木町太宰会々長
木下 巽

生家の正面玄関から入って左側は、旅館時代には下足置き場として使われていました。下足置き場の裏側は、八畳ほどの洋風の部屋になっていました。現在は、鉄格子をはめ込んだ窓枠が入れられ、カウントーが復元されています。この洋室をパンフレットには「銀行」と書かれています。今回は、「津島家と銀行」についてまとめてみます。

「金木俯瞰図」

大正七年に、太宰さんの父源右衛門氏が、東京芝愛宕町の東京図鑑社に『金木案内俯瞰図』を描かせています。「村役場賛助」と書かれた定価十銭のこの絵図には、津島家を中心に据え、その真向かいに「金木銀行」が配置されています。この俯瞰図によつて金木銀行の場所が明確です。また野呂郁三さんが、「太宰を知る会」に資料として提示した概略図にも、現在の青森銀行金木支店駐車場あたりが「金木銀行」跡であったと実証しています。

「金木銀行」設立

生家真向かいにあった「金木銀行」は、いつごろ設立されたものでしょうか。『青森銀行史』(昭和四三・九)には、「金木銀行」のことが詳細に記録されています。また、「ふるさと」のあゆみ北

津軽(昭和五六・一〇)には、金木銀行の古い写真が二枚解説つきで掲載されています。これらの資料により

ますと、「金木銀行」は、いまから百二年前の明治三十年七月二十七日に設立されています。この「金木銀行」は、同地方の大地主であり、名望家である北津軽郡金木村津島源右衛門と、その一族にて創立されたと明記されています。同三十一年には、中里村古川市三郎および車力村鳴海廉之助らが参加し、資本総額二万円。さらに、同四十年八月資本金一万円増加し三万円となり、同四十二年七月二万円増加し五万円と



▲銀行跡といふよりも、小作人たちの交わる場所であったのではないかとされる

なっています。発足当時の組織は「合資会社金木銀行」とし、その後大正八年三月に「株式会社金木銀行」と変更されています。初代頭取は創立者である津島源右衛門が、その死亡時の大正十二年三月四日までつとめ、津島文治に代

わっています。昭和八年以降は資本金を五十万円に増加し、二代目頭取津島文治は解散前年、昭和十二年五月に辞任しています。この「金木銀行」は明治三十年に創業以来、約四十数年間にわたって順調な経営を続

けてきました。しかし、時局の進展につれ、農村地帯の小規模銀行の存在は、政策上でも、また経営上でも困難になり、昭和十三年八月十一日に「第五十九銀行」に買収されます。

以上の記録でわかることは、津島邸が新築される十年前に「合資会社金木銀行」が津島家の真向かいに設立されたこととす。太宰さんが生まれたころの津島家は、県下でも屈指の大地主で、多額納税者であり、併せてこの地方の経済の実権を握る金木銀行の経営者として銀行業務をしてきたということです。したがって、明治四十年に新築された、邸宅内の「銀行跡」説は再考を要すると考えるものです。

「アヤの証言」

それでは、この洋風の部屋は何に使われていたのでしょうか。『回想の太宰治』(津島美知子著・平成九)の中に、アヤこと中西信吉さんが、この部屋のことを次のように語っています。へ津島家の玄関大戸は開け放しで外が暗くなると閉めて、くぐり戸から出入りします。大戸を入ると左

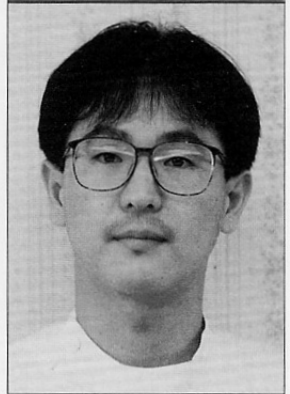
手は「店」で、勘定台まで履物をはいたままふみこめるようにタタキになっています。小作人が帳場さんと話があるときはここへくるのです。店の向かいには八畳の離れで、旦那が留守になるとあと女子供だけで不用心だから表で何が起こつてもすぐ判るこの部屋にアヤが泊まることになっています。…

この記述の中に、部屋を「店」と言っていることに注目したいのです。最盛期には、三百人近い小作人がいたということですから、小作人と帳場さんと話し合いの場が、この店であったということとす。時の推移によって、利用の仕方や帳場にも変化があり流動的な面もあるでしょうが、中西信吉さんの語りど、その記述には信びよう性があります。

さらに「金木銀行」以前の経緯と背景は、明治三年の「帰農政策」までさかのぼります。「献田」と「家業願済」による「金貸業」の許可鑑札。「対馬商工」として、津島家膨張の基盤を築いた曾祖父惣助の存在を忘れてはならないのです。

インフルエンザについて

小児科 佐々木伸也



インフルエンザは流行の様相はとても特徴的で、ある時期にあらゆる年齢階層の人々の間に蔓延し、比較的短時間でその姿を消していきます。

今年度金木地域では三月中旬よりその流行が見られました。

今回はインフルエンザについて小児科領域を中心に述べたいと思います。

1 病原

インフルエンザウイルスによって引き起こされる感染症で、ウイルスにA、B、Cの三つの型があり、さらにA型はいくつかの亜型に分かれています。このうち流行を起こして関心の的になるのはA型で、B型も小流行があります。

また、A型インフルエンザは大きな変異を十年から四十年に一度生じ、それが新型となって大流行を起こす可能性があります。一九九七年、香港で三歳の男児が死亡した際に騒がれたのはこのためですが、今のところ大流行する兆しはないようです。

感染経路は鼻、口を通して、ここにウイルスを直接吸入するか、あるいは器物の表面から間接的に摂取感染します。よって予防するために、マスクをする、うがいをする、近くに行かない、ということとは理にかなっていません。潜伏期は二十四時間から四十八時間です。

2 症状

初期・上気道症状として咽頭痛、乾燥感、空咳、鼻汁。全身症状として上気道症状から半日、一日遅れて頭痛、発熱、全身倦怠、悪寒、吐き気、食欲不振、関節痛、筋肉痛、腰背部痛など。

極期・高熱(三八〜四〇℃)頭痛、全身倦怠、筋肉痛、くしゃみ、食欲不振、空咳、嘔吐、鼻汁、無気力などが三〜五日ほど。また発熱は一旦下降し再び上昇する、いわゆる二峰性の発熱を示す場合が約半数。発熱時間は長くと一週間にもなります。

回復期・痰の絡んだ咳が一時強くなり、くしゃみ、鼻汁、無気力などが数日続き快方に向かいます。

ます。

体力の低下した状態は解熱後数日続きます。病み上がりは体力の回復を待ちたいものです。ちなみに学校保健法ではインフルエンザの出席停止期間(欠席扱いにはなりません)は解熱後二日までと決められています。

合併症・小児科で日常的なものでは中耳炎、副鼻腔炎(蓄膿症)、気管支炎、肺炎、喘息の悪化など。熱性けいれんを起こすこともしばしばです。けいれんの対処の仕方は本誌一九九七年六月号にあります。注意すべきものには腓腹筋炎があり、ふくらはぎの痛み、歩行困難、立つても爪先立ちとなります。これらが出現したら病院を受診してください。そして最も重篤な合併症は脳症ですが、これは後述します。

3 発症後の対策

基本的に対症療法となります。安静、水分摂取(無理に食べさせずともよく、糖分を含んだ水分中心でよい)、快適な温度環境(寒がって発熱しそうであれ

ば保温する、熱が上昇しきって手足の冷感がとれ、暑がっているのであればまずは脇の下、足の付け根、首などでクーリング)に心掛けてください。消耗の程度が強いようであれば熱が上昇しきった後に使用法を守って(できれば最小限に)解熱剤使用可です。これらは一般的な発熱の対処の方法と何ら変わりません。初期でもストレスのかかりかたが強いとか、四〜五日発熱が続く、咳、腹痛などの症状が強い場合などは病院を受診してください。熱は高く長いため看病している側としては焦りがちですが、根気よく解熱を待ってください。

昨年、治療薬としてアマタジンという薬が認可され、使用されはじめています。確かに感染防止効果、発病防止効果はあるようですが、二〜三日のうちに耐性ウイルスを発現させやすいこと、もともとパーキンソン病の治療薬のため副作用の点から小児にはいまのところ積極的に処方しにくいことなどが問題です。

4 脳症について

最近耳にする機会も多くなつたインフルエンザなどの感染でまれに見られる小児で最も重篤な合併症です。県内でも年間数例の発症者、死亡者がいるもの

と思われま

脳症の症状は激烈で、意識障害、けいれん、嘔吐のいずれかを初発症状とし、四肢硬直も伴うことが多く、二十四時間以内に昏睡となります。緊急に治療を要しますが、嘔吐、傾眠、(熱性)けいれんは脳症でなくとも普遍的に生じうる症状であり、その鑑別に家族や医療スタッフも苦慮するところでは、また「インフルエンザ」として初診の段階で脳症をこれから発症するかどうか知ることは不可能です。

ただし、脳症のひとつとされるライ(Reye)症候群という疾患は、すでにアメリカで解熱剤の一つであるアスピリンを使用した小児に高率に発生することが証明されており、現在日本においても小児科領域でのアスピリンの使用は川崎病などの特殊な疾患を除いて特に発熱時では禁忌とされています。ライ症候群とインフルエンザ時の脳症とは一致したものではありませんが、乳幼児では特に代謝などの生理機構が未熟であり、素人判断での解熱剤の乱用は感心しません。必ず決められた用法と容量を守り、また直接疾患を治すものではなく、逆に熱や疾患を遷延させる可能性もあるということを十分認識してください。

はじめまして

<p>たつちゃん、早く大きくなって一緒に遊ぼうね(姉 千鶴より)</p> 	<p>嵩 <small>たか</small> 晃 <small>あき</small></p> <p>健康で優しい子に育ってほしい!! (母 晴美より)</p>		<p>湧 <small>ゆう</small> 太 <small>た</small></p> <p>健康で思いやりのある子に育ってほしい(父 敬之より)</p>		<p>健 <small>たけ</small> 人 <small>と</small></p>
<p>早く大きくなってベースリストをめざせ(父 光一より)</p> 	<p>竜 <small>りゅう</small> 輝 <small>き</small></p> <p>どんでもぐまみしぐがおかれえー (祖父 勝義より)</p>		<p>実 <small>み</small> 玖 <small>く</small></p> <p>わんぱくでたくましく育ってほしい (母 優子より)</p>		<p>将 <small>まさ</small> 生 <small>き</small></p>
<p>パパといっぱい野球して遊ぼうねほくと!!(母 暁子より)</p> 	<p>畝 <small>ほ</small> 玖 <small>く</small> 斗 <small>と</small></p> <p>元気に育ってほしい (祖父 作五郎より)</p>		<p>良 <small>りょう</small> 太 <small>た</small></p> <p>はやく一緒にあそぼうね (姉 小夏・兄 龍之介より)</p>		<p>小 <small>こ</small> 春 <small>はる</small></p>

戸籍の窓

三月届出分

おめでとう

小野 健太 (敬之) 金木
山中 湧太 (正仁) 嘉瀬
山藤 嵩晃 (文裕季) 金木
小松 将生 (憲史) 嘉瀬
福長 実玖 (善宏) 金木
千田 良太 (良一) 川倉
前田 竜輝 (光二) 神原
竹内 畝斗 (彰) 金木
白川 小春 (孝治) 川倉

おしあわせに

三上 満 (誠一) 神原
柏崎 真樹美 (敏榮) 小泊村
浅利 勝博 (勝義) 川倉
桑田 憂花 (徳美) 喜良市
工藤 隆樹 (正雄) 車力村
津島 朝実 (陽一) 金木
角田 勝広 (稔) 金木
宇野 由美子 (春雄) 青森市
山本 貴弘 (啓) 弘前市
黒滝 沙織 (忍) 金木

おくやみ

横山 キセ (75才) 金木
棟方 俊一 (51才) 嘉瀬
中村 マサ (82才) 金木
古川 サダ (74才) 喜良市
三上 藤市 (90才) 金木
石戸谷 健一 (70才) 金木
阿部 照子 (47才) 喜良市
前田 稔 (70才) 神原
濱田 ふさ (66才) 嘉瀬
今田 キミ (84才) 喜良市
田中 リセ (83才) 蒔田
三上 サナ (89才) 喜良市

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

人口と世帯

	3月末現在	前年	同月比
男	5,820人	△	21人
女	6,368人	△	70人
計	12,188人	△	91人
世帯数	3,936		3